

伏見を舞台とした芸能再発見2024~2026 皆様のご参加・ご協賛が、地域の伝統文化を支えます！

第3回 伏見の神社が舞台の能・狂言再発見！

～伏見に綺羅星が集い、地元の人、遠くの人が集い、伏見と伝統芸能を楽しむ3年間～



講演 若林正博

江戸初期の伏見の神社

野村万蔵



見物左衛門
深草祭

和泉流・狂言



宝生流・能
金札

関直美

写真提供 宝生会

大蔵流・狂言
大手筋

茂山宗彦



茂山逸平

観世流・能
金札

大江信行



Jump to the English page



司会 對馬京子



林サヨコ 伏見の風景キルト

※写真は作品の一部

伏見稲荷大社 縦255cm横171cm

2026年3月15日(日) 13:00~17:00 (開場は12:00)

京都市呉竹文化センター

参加料:7500円

申込方法は

京阪本線、近鉄京都線「丹波橋」駅西口前

ホール (協賛金として) (全席自由)

こちら →

主催:一般社団法人ラ・ネージュ

お問い合わせはngialaneige@gmail.comか090-8141-6350にて

後援:京都市教育委員会

参加したいけれど、この参加料では難しい (ショート)メールにて

友情出演:若林正博(伏見城研究会会長)

という方はお問い合わせください

←の料金を支援

友情出展:林サヨコ(手芸家)

25歳以下:3500円小中高校生:500円でも可

する為等の

ホール入口横:くれたけミニギャラリーにて同時開催

(要事前申込)

ご協賛も随時

林サヨコ 伏見の風景キルト展(当日限りの特別展示)

無料枠が出る可能性有

お待ちしております。



主催者ごあいさつ

伏見に生まれ育ち、伏見桃山に同時代の茶室を構え、30年ヒト、コト、モノを繋ぐ活動をする中、様々な分野の素晴らしい演者の方と出会うことができました。普段は小さな場所で小さく活動してまいりましたが、「これは地元を中心とした大勢の方にご覧いただきたい!!」と思う、伏見を舞台にした伝統芸能に出会い、瞬く間に3年計画のものとなりました。

第1回、第2回が無事終了し、いよいよ最終回、3回目のご案内をする運びとなりました。舞台は、交通至便の丹波橋にある地元、呉竹文化センターの600人を収容するホールです。

お帰りには地元商店街に立ち寄っていただける時間帯に開催します。

伏見まみれの1日をお楽しみくださいませ!!
一般社団法人ラ・ネージュ
代表理事 四方有紀

伏見を舞台とした芸能再発見2024~2026の概要

2024年に講談、浪曲、落語 2025年に邦楽・大和楽の日本舞踊、様々なスタイルの淀川三十石船唄〜杜氏唄を、そして、2026年には能と狂言を地元の観世流、大蔵流の皆様に加えて、東京から宝生流、和泉流の皆様をお招きして上演します。

この事業は、非営利で行っております。市民の皆様への生涯学習に寄与し、子ども達、また、保護者の皆様に、地元伏見に古くから存在していた素晴らしい芸能があることを知ってもらいたく、京都市教育委員会のご後援をいただきました。また、貸出用のイベントを記録したDVDを制作することにより、当日お越しいただけなかった方々にもご覧いただけるよう、希望があれば区役所や学校に貸し出し、ご覧いただけるような機会を設けます。会場の設えの都合により、それぞれ585席、585席、600席、5000円、5000円、7500円のご協賛で成立する予算になっております。が、思い切って、若者、子ども達にはそれぞれ半額以下、500円でも参加できるようにしました。それらを支援いただく為に、当日ご参加いただけなくてもご支援、ご協賛いただけると大変有難いです。

宝生流の「金札」で(一財)衆和財団様のご提供により、ご自身のスマートフォンとイヤホンで解説が無料で聴ける「スマホで解説」を導入!スマホ・イヤホンをお忘れなく!

出演者・出展者プロフィール(出演順)

若林正博(わかばやし・まさひろ)

1968年 京都市伏見区生まれ。
同志社大学経済学部卒 伏見城研究会会長
地元の伏見城研究会に参画し、伏見の地域史を研究。2013年以降、200回を超えるフィールドワークと講演の機会を持つ。地域史は研究だけに止まらず、地域づくりとの連携を念頭に、伏見の歴史に関する講演やテレビ・ラジオ番組の出演、監修等にボランティアで携わる。

野村万蔵(のむら・まんぞう)

1965年生まれ。東京都出身。
野村萬(人間国宝)の次男として生まれる。
父及び祖父故六世万蔵に師事。2005年に九世野村万蔵を襲名し当主となる。
「萬狂言」「万蔵の会」主宰。
2022年「祖先祭初世野村万蔵生誕三〇〇年」公演が文化庁芸術祭大賞を受賞。
国内外にて公演を行なうほか、新作の創作・演出も多く手掛け、流派を越えた「立合狂言会」や、南原清隆さんと「現代狂言」を発足させるなど、狂言の普及と発展に尽力している。
NHK大河ドラマ「西郷どん」(2018年)に三条実美役で出演。
東京藝術大学講師。和泉流職分会芸事委員。
重要無形文化財総合認定保持者

関直美(せき・なおみ)

1964年北海道帯広市生まれ。
音楽博士、重要無形文化財総合指定保持者。
St. Francis college (NY, USA)、心理学部卒業。裏千家茶道専門学校、研究科修了。東京藝術大学、音楽学部邦楽科卒業。同大学院、音楽研究科修士課程修了。同大学院、同博士課程修了。
能楽師シテ方宝生流職分。(公社)能楽協会会員、(一社)日本能楽会会員、(公社)宝生会会員、同門会「花月会」主宰。茶道裏千家正教授。(一社)茶道裏千家淡交会特別師範会員、裏千家インターナショナルアソシエーション会員。
伝統文化普及継承団体「伝統の橋がかり」主宰。
平成30年度東京都女性活躍推進大賞優秀賞受賞。

茂山宗彦(しげやま・もとひこ)

1973年生まれ。二世七五三の長男。
4歳の時『以呂波』のシテにて初舞台。その後『千歳』『三番三』を抜く。
2006年より「HANAGATA」を正邦(現 千五郎)、茂、逸平、童司と共に再開。企画製作そして出演までを自分たちでおこなう「HANAGATA」を通し、狂言の魅力をも存分に味わっていただき、自らの芸を磨くことを目的とした。2020年からはHANAGATA改め「Cutting Edge KYOGEN」として活動している。
その他、狂言以外の活動としてもNHKテレビドラマ「京都発ぼくの旅立ち」「ふたりっ子」「終のすみか」「ちりとてちん」「おちよん」等に出演。ミュージカル「アンネの日記」「ザ・近松」「蜘蛛巣城」「天国を見た男」「大悪名」出演と狂言のみならず色々な方面で活躍

茂山逸平(しげやま・いっぺい)

1979年生まれ。二世七五三の次男。
4歳の時『業平餅』の童にて初舞台。その後『千歳』『三番三』『釣狐』を抜く。
2006年より「HANAGATA」を正邦(現 千五郎)、宗彦、茂、童司と共に再開。企画製作そして出演までを自分たちでおこなう「HANAGATA」を通し、狂言の魅力をも存分に味わっていただき、自らの芸を磨くことを目的とした。2020年からはHANAGATA改め「Cutting Edge KYOGEN」として活動している。
2006年秋から1年間フランスに留学した。
2009年より日本舞踊、尾上流家元三代目尾上菊之丞と『逸青会』を落語家三代目桂春蝶と『春蝶・逸平の一緒に遊びまSHOW!』を主催。

大江信行(おおえ・のぶゆき)

1976年生まれ。
大江能楽堂8代目。観世流能楽師。
7代目大江又三郎や人間国宝・片山幽雪に師事し、3歳にて仕舞「老松」で初舞台。
演能活動以外にも、奈良女子大学能楽部を指導するなど能楽の普及に務める。
平成30年度 京都市芸術新人賞 受賞。日本一ノッポな能楽師。
日本能楽会会員
重要無形文化財保持者(総合認定)

Jump to the English page

林サヨコ(はやし・さよこ)

手芸家、京都市伏見区在住
生まれ育った伏見の風景を始めとし、京都の町家から訪れた外国の風景まで、独自の手芸の技で表現。
このイベントでは伏見の作品に特化し、3年に渡って出展予定。会場に華と彩りを添える。



伏見イベント2024~6とは



伏見イベント2026詳細

